

第3回 中等日本語教育授業教案コンテスト

教 案

【注意事項】

※項目は全て埋めてください。

※実際のクラスを想定しながら、学生に対する指示や説明、やり取りの言葉など詳しく書いてください。

※授業時間は、1コマ40～45分です。 ※教案は日本語で書いてください。

学校名： 上海市甘泉外国語中学		姓名： 高懐氷		
使用教科書：普通高中课程标准实验教科书日语第1册（人教版） 第 2 課 （全 6 コマの内、本教案は 3 コマ目） （例）第5課の授業を7回に分けて、この授業を3回目にする場合 ⇒第5課 全7コマの内、本教案は3コマ目 1コマ 40 分 【要選択】（ 高校 ・ 中学 ） 3 年 クラスの人数 20 人 【要選択】 第一外国語 第二外国語 課外活動 その他（ ） 日本語学習歴 4 年				
この授業の到達目標 言語能力： 「てはいけない（禁止）」、「なければならない（義務）」、「ても/なくてもいい（許可）」といった文型を使って、グループで遠足の規則を作って、妥当性を評価できる。 文化意識： 規則を作ることを通して、生徒は規則意識が高められ、改めて「寸法に準じないと成果を収められない（无规矩不成方圆）」、「備えあれば憂いなし（凡事预则立，不预则废）」の諺の意味が一層理解できる。 思惟品質： 「ブレインストーミング」で、遠足の時に起こりうる問題を予想することや、予防対策、すなわち規則を作ることなどで、問題を発見し、分析し、さらに解決する能力が運用できる。また、規則の妥当性を評価し、意見を述べることや聞くことで、異なる視点によるものの見方を身に着け、それに、分析的かつ批判的な能力を高めることができる。 学習能力： 実際の生活にあり得る場面を想定し、問題を解決することで、学習意欲が高められる。また、グループ作業の中で、意見を話し合うことやメンバーと協力しあうことなどで、個人学習と協働学習を促進することができる。				
この授業の学習項目 1. 遠足という場面において、「てはいけない（禁止）」、「なければならない（義務）」、「ても/なくてもいい（許可）」といった文型の応用 2. 「ブレインストーミング」でアイディアをポストイットに書いてはる、参加者の意見をまとめるポストイット投票法の使用				
時間	段階 (授業の 流れ)	練習・活動の内容（詳しく書いてください）	練習・活動の目的	注意点・ 使用するもの
3分	導入& 目標 提示	T: 皆さん、再来週は遠足に行くことになりましたね。実は、皆さんの知っている通り、前の遠足の時に、このような問題が起こってしまいました。 ・公園の自転車に乗って、人をぶつけてしまったこと ・乱暴な言葉遣いで学校側の風紀委員に指摘	遠足に行くという実際の場面を設定し、現実の状況に近い学習環境を作り出して、生徒の学習意欲を引き出す。	

※2 ページ以上になってもいいです、詳しく書いてください。ただし、項目は変更しないでください。

		<p>されたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イヤホンケースを無くしたこと。(PPT で当時の写真を見せながら、説明する) <p>本当に大変でした。そのような問題が出ないように、どうしたらいいか、ぜひ考えてください。</p> <p>S: (様々な回答)</p> <p>T: 中国語には「凡是预则立, 不预则废」という諺があります。つまり日本語では「備えあれば憂いなし」という意味です。遠足をよりよい楽しむために、予め何か予防対策を作っておく必要があると思います。皆さんはどう思いますか。</p> <p>S: (回答)</p> <p>T: ちょうど昨日の授業では、「京安高校の規則」という内容を勉強しましたね。そして、平穏な学校生活を送られるには、規則を作り、守ることがどれほど重要なのかということも分かりましたね。</p> <p>だから、今日の授業では、遠足の活動を想定した上で、遠足を楽しめるように、みんなで一緒に規則を作ってください。</p> <p>(PPT で目標を提示)</p>	<p>実際に起こった遠足の安全事故をきっかけに、生徒の問題を発見し、分析し、解決する能力を伸ばす</p> <p>授業の最初に、生徒に目標をはっきりと提示することによって、意識を持って授業に臨むことができる。</p> <p>前の遠足に問題があった→対策を作っておく必要がある→規則の大切さ→遠足の規則を作る必要があるという流れで導入が展開される</p>	<p>注意点: 生徒の反応や答えによって、教師は回答を変える</p> <p>使用するもの: PPT</p>												
10分	前作業	<p>1. 規則に使う文型</p> <p>▶文型の確認</p> <p>今日はもう一度京安学校規則をもう一度見てください。皆さんは PPT の内容を確認しながら、一緒に大声で読んでください。</p> <p>▶ 文型のまとめ</p> <p>T: 皆さん、規則を説明するには、ここではどんな文型を使っていますか。</p> <p>S: (回答)</p> <p>T: (生徒の回答に基づき、板書を書く)</p> <div data-bbox="355 1621 919 1812" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>板書</p> <table style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">ルール</td> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td style="padding-right: 10px;">V なければならない</td> <td style="padding-left: 10px;">義務</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">説明</td> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td style="padding-right: 10px;">V ても/なくてもいい</td> <td style="padding-left: 10px;">許可</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td style="padding-right: 10px;">V てはいけない</td> <td style="padding-left: 10px;">禁止</td> </tr> </table> </div> <p>▶文型の応用練習</p> <p>T: では、少し練習しましょう。PPT の写真の内容を確認した上で、説明してください。</p> <p>▶文型の語用範囲の確認</p> <p>T: 皆さんはもう文型は正しく使えるようです</p>	ルール	{	V なければならない	義務	説明	{	V ても/なくてもいい	許可		{	V てはいけない	禁止	<p>①前作業として、言語と内容の二つの面から、生徒に必要な足場を架けてあげることで、タスクの順調な遂行に繋げる。</p> <p>②前回の授業に習った文型をコーラスして復習すること、文型の使い方を纏めること、文型を使って応用練習すること、最後悪い例を示し、語用範囲に気付いてもらうことといった四つの段階に分けて、徐々に生徒のスキーマを活性化させ、タスクをやるための前作業になる。</p>	<p>注意点:</p> <p>① 教師も生徒とともにコーラスする</p>
ルール	{	V なければならない	義務													
説明	{	V ても/なくてもいい	許可													
	{	V てはいけない	禁止													

※2 ページ以上になってもいいです、詳しく書いてください。ただし、項目は変更しないでください。

		<p>ね。後の遠足の規則の作成も大丈夫でしょう。但し、ここでは気を付けてもらいたいこともあります。文法としては正しいですが、遠足の規則としてはふさわしくない内容があります。例えば、 湖で泳いではいけない。 (PPT で) すでに常識になっていることは書かなくてもいいです。</p> <p>2. 規則を考える角度 T: 先ほどは規則に使う文型を確認しました。遠足は大体三つの時間帯に分けられています。出発前、移動中、到着後です。それらの三つの時間帯に注目して、どの角度から規則を作るか、みんなで一緒に考えましょう。</p> <p>板書</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>例えば：礼儀です。礼儀の角度から、集合時間を守らなければいけないとか、乱暴な言葉遣いをしてはいけないという規則を考えます。ほかに何かありますか。1分間メモしながら、考えてください。 T: 時間になりました。言ってみてくださいね。 S: (様々な回答) T: (生徒の回答を板書にする)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>板書： 礼儀、乗車、飲食、服装、 環境保護、私物の管理、乗り物の利用</p> </div> <p>皆さんは以上の角度を参考にしながら、規則を作ってください。</p>	<p>③文法の形式だけでなく、語用範囲にも生徒にも気付いてもらうように仕向ける</p> <p>④時間軸で三つの時間帯を提示することで、生徒の遠足に関するスキーマを活性化させる。</p>	<p>②間を取って生徒に答えてもらう</p> <p>③板書の内容は教師の予想例で。生徒が十分に思い付かないなら、教師は補足する</p> <p>使用するもの：PPT</p>
25分	本作業 (規則の作成)	<p>グループ活動1：規則を作成する ①教師によるタスクの説明（2分） 続いては、タスクのやり方について説明します。 まず、先生を見てください。先生と同じ形の張り紙を貼ってください。張り紙はもう机の上に置いてあります。各グループがもらった張り紙の色がそれぞれ違うので、その色でグループの名前にしてください。例えば、赤の張り紙をもらったグループは赤組でお願いします。 次は、グループで一緒に、黒板に書いた規則に使う文型や考える角度を参考にしながら、一つの付箋に一つのルールを書いてくだ</p>	<p>①グループで色で命名することや、服に貼る張り紙の色、規則を書く付箋の色を揃えることで、次のステップである評価タスクの遂行に繋げる。</p>	<p>注意点： ①教師は説明しながら、生徒に動作を示す</p> <p>②授業の前に、生徒に5人グループを作り、太いペンを用意してもらう。</p>

※2 ページ以上になってもいいです、詳しく書いてください。ただし、項目は変更しないでください。

さい。(付箋の色もグループの色と同じです)
 それから、書き終わったら、PPTと同じように、項目ごとに大きい紙に貼ってください。
 (PPTを見せる)

	出発前	移動中	到着後	遠足中	赤組
	■ ■	■ ■	■ ■ ■	■ ■	

ここの「遠足中」は「出発前」から「学校に戻る」までの時間帯です。

②生徒がタスクをやる (8分)

T: それでは、始めます。

自分の書いた付箋の数、そしてグループの付箋の数も数えておいてください。授業の最後に、一番多く提案したグループ、そしてグループの中で一番多く提案した人に授賞します。

グループ活動2: 規則を評価し合う

①教師によるタスクの説明 (2分)

T: 次のタスクに移ります。まず大きい紙を教室の壁に貼ってください。そして、グループで他のグループの規則を確認してください。クラスの遠足の規則にしたい内容であれば、まず付箋に花の張り紙を貼って、それから付箋を取り出して、黒板のクラスの「規則表」に貼り付けてください。(教師はその過程を動作で示す)

同じ内容であれば、自分の付箋を元の付箋の上に貼ります。(教師はその過程を動作で示す)

チェックの順番はこうなります。つまり、赤組は青組、青組は緑組、緑組は黄組、黄組は赤組の内容をチェックしてください。一つのグループをチェックし終わったら、次のグループに移ります。(PPTで見せる)

②メンバーの書いた内容を確認しながら、規則を作成するのは個人学習と協働学習両方も促す。

ブレインストーミングのポイントはどんどん書くことだ。授賞で生徒の書く意欲を引き出す

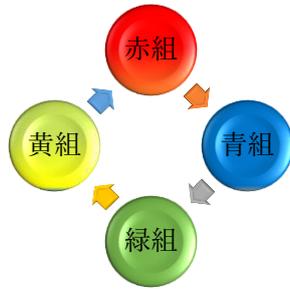
③赤、青、緑、黄の付箋を用意し、前もって生徒の机に置いておく。

④大きい紙に項目とグループの名前も書いておく。

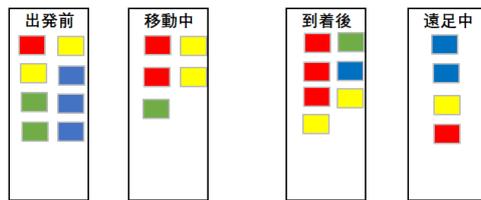
⑤パソコンで時間をカウントダウンする

⑥大きい紙に付箋を貼るように生徒に時間を注意する

⑦内容を確認しやいため、黒板の異なる場所に「出発前」「移動中」「到着後」「遠足中」の四つの項目を書く



②メンバーと話し合い、付箋を「規則表」に移す (5分、イメージは以下の図のようです)
 T: 規則表に貼ってある規則も確認してください。良いと思うなら、付箋に花の張り紙を貼ってください。



グループ活動 3: 規則にしたい/したくない理由を述べる (7分)

T: 皆さんののおかげで、大まかな規則ができました。グループの推薦のマークが三つ以上であれば、それを規則にします。もちろん、推薦のマークが少ない内容もあります。次はこれらの内容を確認します。「～」という内容ですが、赤組はそれを規則にしたいですね、その理由を聞かせてください。

S (赤組): (理由を述べる)

T: しかし、緑組はしたくないですね。理由も聞かせてください。

S (緑組): (理由を述べる)

T: それぞれの理由を聞いた後、皆さんはどう思いますか。規則にしたらなら、手を挙げてください。

S: (投票する)

T: はい、皆さんの投票により、「～」を規則にします/しません。次は「～」という内容です。

使用するもの: PPT、張り紙 (赤、青、緑、黄)、付箋 (赤、青、緑、黄)、大きい紙、花の張り紙 (赤、青、緑、黄)

1分	後作業	表彰式 一番多く提案したグループとグループの中で一番提案した人に「貢献賞」を授賞する	提案した数を数えておく
2分	まとめ & 宿題	T: 「寸法に準じないと成果を収められない (无規矩不成方圓)」という諺があります。今日は	使用するもの: PPT

※2 ページ以上になってもいいです、詳しく書いてください。ただし、項目は変更しないでください。

		<p>「ブレインストーミング」でアイデアを付箋に書いて張る方法で、皆さんは知恵を絞って、遠足の規則を作りました。お疲れさまでした。そして、遠足の日に、今日作成した規則を守ることで、遠足を思い存分に楽しみましょう。</p> <p>宿題： 一番印象に残った規則についての理解や感想を書いてください。200～250字</p>		
<p>工夫点・アピールポイント（どの部分に力を入れて作成したか、どの部分に注目してほしいか など）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実際に起こった遠足の安全事故をきっかけに、グループで遠足のルールを作ってもらうことによって、生徒の問題を発見し、分析し、さらに解決する能力を高めた。 2. 「ブレインストーミング」でアイデアを付箋に書いて張る方法や、参加者の意見をまとめる付箋投票法の使用により、ファシリテーターである教師の促進の下で、生徒全員は知恵を絞り、遠足の規則を作成した。 3. 目標—指導（活動）—評価の一体化や、評価もグループ活動に入れることや、個人学習と協働学習を促進することを工夫し、生徒は明確な目標を持って授業に臨み、さらに学びの成果を実感してもらった。 4. 具体的なシチュエーションの中でタスクを完成することで、生徒が文法上だけでなく、語用上でも「Vなければならない」「Vても/なくてもいい」「Vてはいけない」を正しく使うように仕向けた。 				
<p>★研修会でどんなことを学び、どのように授業に活かしたか。 （例：○○の講座で◇◇について学び、授業では△△の部分に取り入れた など）</p> <p>参加年： 2020、2021 年 研修会名：“2021 年长三角地区日语教师研修会”</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目標—指導（活動）—評価の一体化に工夫し、生徒に学びの成果を実感してもらうこと 2. 授業の最初に、生徒に授業の目標をはっきりと提示することによって、意識を持って授業に臨むように仕向けること 3. 必要な足場を架けてあげること 4. 活動の中で、個人学習と協働学習を組み合わせること 				

※2 ページ以上になってもいいです、詳しく書いてください。ただし、項目は変更しないでください。